

地域総合



還暦を祝い、見事な演武を披露する岸信行さん
—新庄市・熊野神社

新庄の岸さん

新庄市北町に十五年前に空手道場を構えた岸信行さん(60)は今も現役で、実戦的な空手を教えている。誕生日の十日には還暦を祝う。幼少時代の思い出が残る同市飛田の熊野神社で奉納演武を披露。米国ニューヨークから弟子たちも駆け付け、気迫あふれる演武に地元住民から大きな拍手が送られた。

還暦祝い 空手奉納演武

米国から弟子も駆け付け

岸さんは、六十歳は原点に戻る一つの区切りで、これまで無事に生きてこれた感謝の気持ちを伝えたいとして、奉納演武を企画。地元の神社で行われた演武では、形を披露し、厚さ約三十センチの氷柱割りに挑戦。二段重ねの氷を手刀で割ると、約百五十人の観衆から歓声が上がった。

岸さんは「地元の人がかんなにたくさん集まってくれてうれしかった。新庄でも空手に親しんでくれる人が増えるといい。機会があれば、また演武を見てもらいたい」と語った。

夢や思い 堂々と

県学校農業クラブ連見発表会・寒河江

県学校農業クラブ連盟、県内の農業高などで(代表・近江正人庄内農業学ぶ生徒らが将来の夢や業高校長)の意見発表会 農業への思いなどを堂々が十一日、寒河江市の寒河江高農業校舎で開か

県内七つの高校から代表を振るった。

久保桜の樹勢回復作業

長井で伊佐沢桜会会員ら

長井市伊佐沢にある国指定天然記念物の久保桜。十二日、特殊な施肥を使った樹勢回復作業が行われた。

久保桜は樹齢千二百年といわれ、近年は樹勢の衰えが見られるようにな

ったため、市教委が十年ほど前から回復作業に取り組んでいる。二年前から根発生を促す外科治療も行った。

今回は横浜市の池本三郎さんら樹木医四人の



周囲に掘った穴に竹筒と炭などを埋め込む池本三郎さん(左)ら。長井市・久保桜

指導で、伊佐沢桜会(山田儀重会長)の会員らが、砕いた炭と割り竹を木の周囲三十カ所に埋め、その周りに腐葉土と炭を七対三の割合で詰め込む作業を行った。

竹の中には即効性の液肥を流し込み、竹と炭で

通気性を良くすること、効果があるといふ。池本さんは「(施肥によって)根が広い範囲に張るよう誘導することで、養分を吸収しやすくなる。根気よく毎年続けると、根元が太くなる」と話していた。

業の農業を手伝うのが嫌だったという女子生徒は、安全で安心できる米づくりにかける家族の思いを知ると、農業に興味を持ち、「家族が協力し合いながら楽しく生活できる農業を目指した

南陽市観光果樹振興会 席。大沼会長が「ことしは、不作だった去年を上回る作柄となっている。品質に優れた南陽産サクランボ園で収穫された。同

い」と夢を語る。棄物としてからの再利用の組み合わせることを学べる小さな生活ねこそが大切になる。

作柄良く優れた品質

南陽・観光サクランボ園開園 園料は小学

園料は小学